

2022 年度創業開始 新食肉センター実施設計へ

出資金 県とJAなど
5千万ずつ1億円

●現在の高知市などが運営している高知県広域食肉センター（写真）を訪問。



3年後、県とJA、四万十町以東の28市町村が出資する新会社の新食肉センター

により「安全・安心な食肉」が供給されることとなります。

現在同様に「屠畜」だけでは赤字になるので、「内臓処理」「セリ」「格付け」「部分肉

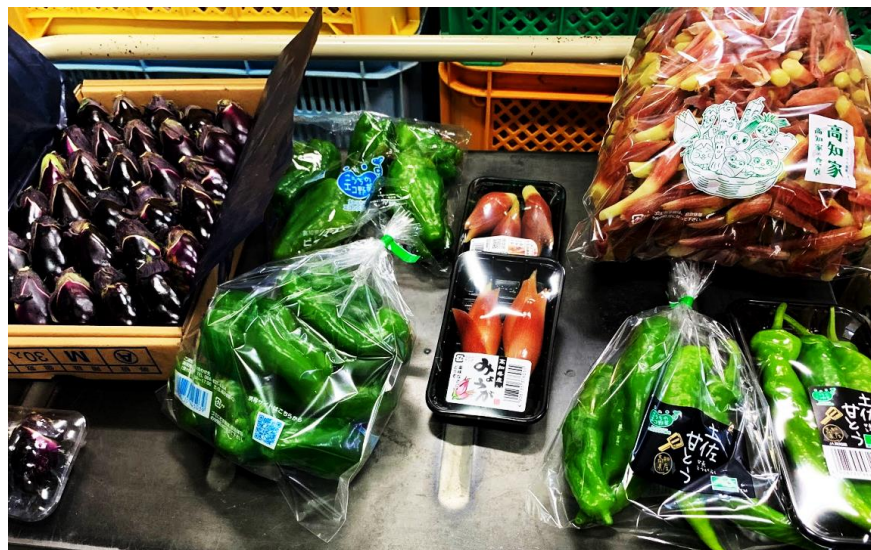
加工、二次加工」「卸売り」など新事業を展開し、初年度から黒字化が図られます。

高知市は牛 四万十市は豚

●現在四万十市にある食肉センターは四万十市が事業者として


新築し豚の食肉センターとして4年後にリニューアル。牛中心の高知市の新センターとあわせ、県内2か所で共存共栄し、畜産振興が図られることとなります。

園芸流通センター訪問



●県園芸連の園芸流通センターはJA高知県と統一し営農販売事業本部に。県下各70か所の集荷場からナス、シシトウ、ミョウガなど農産物が計画的に仕分集荷、一日に450~500t=2億5千万円。輸送は95%がトラック50台/日で高値市場狙い全国へ。2018年度販売額は青果物582億円、花卉44億円の計626億円。





キラリンにやんでも通信

た最高に嬉しいフェスタでした。

氏が熱い演奏で創太に伝えてくれ

匠のプロジェクトでは創太の師匠のジャズドラマー吉川栄治

客で大にぎわい。そして、アフタ

ステージは150名もの大勢の観

2回目の

に招かれ演奏です。

●息子の創太
帰高演奏！

恒例の高知ジャズフェスタ。創太が初めて高崎バンド

